

# ようこそボーイスカウト 小平第五団へ



日本ボーイスカウト東京連盟北多摩地区小平第五団

## 入団のご案内

小平第五団広報委員会 発行



## 目次

1. ボーイスカウト活動とは.....	P3 ~ 6
2. ボーイスカウト小平第五団の活動指針 .....	P7
3. 入団時のお願い.....	P 7
4. 入団の手続き.....	P 7
5. 費用.....	P7
6. 入団時にご用意いただく物.....	P8
7. 保険について.....	P9
8. ご相談・ご連絡先.....	P9
9. ボーイスカウト Q&A .....	P10

## ボーイスカウト活動 (Scouting)とは

スカウト (Scout) とは、「先駆者」の事で、「自ら率先して幸福な人生を切り開き、社会の先頭に立ちとうとする少年」という意味を持っています。

スカウティングは、この活動に自発的に参加をする青少年のためのものです。人種、信仰などの区別なく、すべてに開放されており、キャンプや奉仕活動を通じて学区や学年を超えた、地域社会における教育活動です。そしてその教育には青少年たちが自ら成長できるよう段階的なプログラムが用意されています。

### 年齢の構成 (ボーイスカウトの5つの部門)

スカウト活動は、各年齢層に応じ5つの部門により構成されています

ビーバースカウト	幼稚園年長～小学校2年生まで
カブスカウト	小学校3年生～小学校5年生まで
ボーイスカウト	小学校6年生～中学校3年生まで
ベンチャースカウト	高校1年生～高校3年生
ローバースカウト	18才から (大学生年代)

年齢別の5つのグループに別れて、ボーイスカウトは活動しています。各部門は、年齢に応じた体験ができるようにいろいろなプログラムが工夫されています。

### スカウト運動の特徴

1. 青少年の自発活動を基本にしていること
2. 青少年が、誠実、勇気、自信、及び国際愛と人道主義を把握すること、健康を築くこと、人生に役立つ技能を体得すること、社会に奉仕できることの人格・健康・技能・奉仕を4本柱としていること
3. 幼年期から青年期にわたる各年齢層に適応するよう、年齢に応じた部門があり、それぞれのプログラムが一貫していること

などがあげられます。しかし、スカウト教育が他の青少年団体と異なるところは、そのプログラムにあります。それは、「ちかい・おきて」の実践、班制教育、進歩制度、野外活動を取り入れていることです。

### スカウト運動のはじまり

この運動は20世紀初頭のイギリスで、少年たちの手によって誕生しました。1907年、イギリスのベーデン・パウエル卿が自ら隊長となって、イギリスのブラウンシー島で20人の少年たちとともに実験キャンプを行い、この結果と自らの体験を基に「スカウティング・フォア・ボーイズ」という本を発行しました。ベーデン・パウエル卿は自らが体験したことを、キャンプ生活や自然観察、自然体験を少年たちの旺盛な冒険心や好奇心と結びつけ、そこから開発したゲームや活動を通じて少年たちに自立心や協調性、リーダーシップを身につけ、社会に役立つ人材の育成することを目指しました。

## ボーイスカウト小平第五団はどんな活動をやっているの？

小平のボーイスカウトでは一番新しく1980年に発団した小平第五団の活動は基本的に野外での活動が中心です。ハイキングに出かけたり、テントを張ってキャンプをしたりします。自然の中で思いっきり遊び冒険するのがボーイスカウトの楽しみでもあります。もちろん山登りなどもしますが、ただ登るだけでなく、装備について学び、環境保護の活動にも取り組みます。

奉仕活動もスカウトの活動の柱です。地域社会と連携した玉川上水の自生野草の保護活動などを行っております。9月15日のスカウトの日には、「カントリー大作戦」といって日本中のスカウトが、空き缶拾いをしています。「赤い羽根」などの募金活動に協力することも毎年行っております。他にもユニセフの「ハンド・イン・ハンド募金」や新潟中越地震の被災者の皆様に対しての緊急募金にも協力いたしました。もちろんその募金がなぜ必要でどのように役立つのかも学びます。夏はキャンプや水泳はもちろん、カヌーやヨット、イカダ作りなどにも挑戦します。万が一の事故のことを考えて、ライフセービングの技術も学びます。また、心肺蘇生法（心臓マッサージや人工呼吸法など）などの訓練を受けたりします。キャンプで野外料理を作ったり、カマドを作ったり、火を起こしたり、……。自分のできることは何でも自分でやるのがスカウト活動です。野外料理だけでなくキャンプではロープ結びや手旗信号、正しいナイフの使い方など、いろいろな要素が含まれています。オーバーナイトハイキングに挑戦したり、冬はスキーやスケートを行って自分の技能を磨いています。サイクリングや、芋掘り、雪中登山、自然観察ハイキング、12月には餅つきをしたり、様々なプログラムを工夫してスカウト活動は展開されています。





## スカウト活動の進歩とプログラム

期 間	部 門	目標課題	教育のねらい	進歩制度	
				必修課目	選択課目
18才以上	ローバースカウト	成人としての 人道主義の実践と 社会奉仕	自己探求・奉仕	自己開発	
高校3年 ↑ 高校1年	ベンチャースカウト	社会の中における 個人としての成長	自主活動と 自己目標の発見 →個人の完成	富士章 ↑ 隼章 ↑ ベンチャー章	プロジェクト 技能章（72種）
中学3年 ↑ 小学6年	ボーイスカウト	地域社会における 公民性・社会性の 涵養	自発活動の奨励 →集団の中の役割	菊章 ↑ 1級章 ↑ 2級章 ↑ 初級章	ターゲットバッジ マスターバッジ （53種）
小学5年 ↑ 小学2年	カブスカウト	社会規範の 認識と受容	しつけの指導 →集団への適応	くま ↑ しか ↑ うさぎ	チャレンジ章 （40種）
小学2年 ↑ 小学校入学直前9月	ビーバースカウト	周囲の人間の認識	集団への参加	ビックビーバー ↑ ビーバー	木の葉章 小枝章



### スカウト運動の各部門

スカウト運動は、小学校入学前のビーバースカウトから、18歳以上のローバースカウトまで、幅広い年齢層にわたり、青少年の欲求を満たすように身体的・知的さらに精神的な成長に応じ、5つの部門に分け、青少年の夢と冒険心を満足させるプログラムを組み立てています。

#### ◆ビーバースカウト = 戸外を中心とした集団でのあそび

隊の活動に参加することによって、自然に親しみ、基本的生活技能や社会性、表現力を伸ばす。



#### ◆カブスカウト = 戸外を中心としたあそびによるしつけと訓練

家庭や近隣と社会での生活指導及び組や隊の活動に参加することによって、よりよい社会人としての基本を修得する。

#### ◆ボーイスカウト = 野外を中心とした班活動（仲間による自治の小集団グループ活動）によるしつけと訓練

班及び隊の活動に参加することによって自分の責務を果たし、野外生活を主とした体験学習を通してよき社会人たる資質の向上を図る。



#### ◆ベンチャースカウト = 自発活動と自己目標の発見

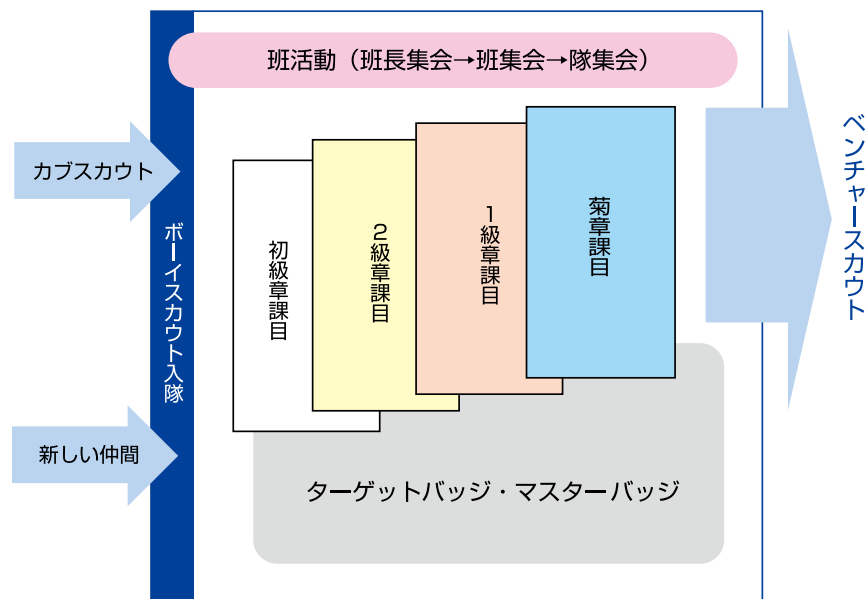
隊及び活動チームの仲間とともに高度な体験を自ら企画し、実行することによって自己の特性を伸ばし、「自分で考え、自分で行動し、自らに責任を持つことのできるスカウト」を育てる。

#### ◆ローバースカウト = 自己開発と心の訓育

各自の生活に「ちかいとおきて」をより強力に具現する機会を与えるとともに、自らの有為の生涯を築き、社会に奉仕できる精神と体力を養うことを目指す。



ボーイスカウト部門の進歩課程とは？



ボーイスカウト部門の進歩課目は、先ず初級課目を達成し、順次菊章課目に至るまでの段階をスカウト自ら計画しチャレンジをします。それぞれの段階の履修結果を絶対評価し、そのスカウトの努力を称え、達成したスカウトの進級を公表し、記章(バッジ)を伝達します。年下のカブスカウト年代(小学5年生までのスカウト)の進級は学年進級ですが、このボーイスカウト年代(小学6年生以降中学3年生)の進級は、スカウト個々のチャレンジし、達成した速さで異なります。

#### 進級課程のそれぞれの級で目指す基本的目標

##### 【初級スカウト】

班(グループ)の一員としてスカウト活動にも慣れ、徐々に技能を身につけ、野外活動において自分のことが自分でできるようになる段階のスカウトです。

##### 【2級スカウト】

班(グループ)の中堅として、他のスカウトの面倒が見られるようになると同時に、隊や班が実施するハイキングに地図とコンパスを使い、楽しく活動できるようになる段階のスカウトです。

##### 【1級スカウト】

一人前のスカウトとして野外活動であるキャンプができ、班(グループ)の中心である班長、次長としてグループ内のスカウトの指導ができ、身につけたスカウト技能を使って自身を持って野外活動の楽しさが味わえる段階のスカウトです。

##### 【菊スカウト】

一級スカウトとしての経験をつんだ後、さらに野外活動の技能を磨き、隊内の班長を指導する立場、隊指導者の補佐をする指導的立場として活躍できる段階のスカウトです。

## 小平第五団の活動指針

子どもたちは体と心と技能がバランスよく育つことが大切です。

ボーイスカウト活動は子どもたちのバランスある成長を促すために、キャンプ、ハイキングに参加することで健康な体を、同年代の仲間同士との活動の中で、他人への思いやり、お互いの協力、リーダーシップ等を、子どもたちが実社会に出たとき必要になる技能を身につけていきます。自分の役割に責任をもつ、約束は守る等を活動の中で習得し、それらが自然と自分の生活習慣となることを私たちは子供たちと一緒に考え実行していきます。

◆地域社会に貢献し、地域にとってなくてはならない組織をめざしています。

◆この活動を全ての子供たち（国籍、性別、貧富、個性の如何にかかわらず）に参加の機会をあたえることをめざしています。

◆活動を続けていくなかで父兄の皆さまに、できるだけ費用負担の少ない運営をめざしています。

## 入団時のお願い

ボーイスカウトは、ボランティアの人達で運営されています。小平第五団の隊リーダーや、団委員の方々も全てボランティアの人達です。また、運営資金も全て育成会員（小平第五団では、保護者とローバースカウトやOBスカウト、またボーイスカウト運動にご賛同いただける方々などから成り立っています）が実施するバザーやチャリティゴルフ、団挙げての資源回収での収益、保護者の方々から出資される隊活動費・育成会費などの資金により成り立っています。

入団に際しましては、この事をよくご理解いただき、ご協力をお願いしています。なお、ボーイスカウトには、各種の指導者養成の研修所が用意されており、誰でも研修を受け指導者になることが出来ます。仕事の都合を付けて指導のために時間をさいてのご協力を戴いている隊リーダーも数多くおります。子供達と共に成長する機会を喜びとして楽しくやってみては如何でしょうか。仕事の世界とは一味違うものを味わってみませんか。ぜひご参加をお願いしたいと思います。

## 入団の手続き

入団をお決めになりましたら、隊長または担当団委員にご連絡ください。2枚の入隊申込書を受け取り、それぞれの入隊申込書に所定の記入事項を書き入れて写真を貼って隊長または、担当団委員にご提出願います。入団時には、団委員長や団委員による親子（保護者とスカウト希望者）面接を出来る限り実施いたします。入団の許可が確認されますと、事務局により団に入団登録し、地区組織を経由してボーイスカウト日本連盟に登録いたします。

## 費用

1. 入団金	3,000円	入団時
2. 登録料	5,400円	年1回（入隊時期により考慮）
3. 隊活動費	500円	ビーバー隊（きりん組）・ベンチャー隊／月
	1,000円	カブ・ボーイ／月
4. 育成会費	2,000円	一家族・スカウト1名につき1口以上／年
5. 活動負担金	0円	活動負担金は年度により変動します。
		基本は0円～1口5,000円／1世帯とし、途中入隊は月割りといいたします。

---

### 【入隊時合計】

ビーバー隊	10,900円
カブ・ボーイ隊	11,400円

## 入団時にご用意いただく物

### 【ビーバースカウト隊】

1. ビーバーキャップ (帽子) ..... 1,404 円
2. ポロシャツ ..... 2,160 円
3. ビーバートレーナー ..... 2,484 円
4. ビーバー長ズボン (ブルー系) ..... 自由
5. ビーバー半ズボン (ブルー系) ..... 自由
6. 靴下 ..... 自由
7. ビーバースカウト歌集 ..... 350 円
8. デイバック (両手が空き、体の大きさに適したもの) 1,000 ~ 2,000 円

尚、制服はビーバーを卒業したスカウトのお下がりがある場合もありますので、ご相談ください。

尚、ビーバーネッカチーフ・ビーバーチーフリング・記章類・ビーバーノートは、入隊式時に入隊記念として進呈いたします。4,5,6 については色を合わせていただければお持ちのもので構いません。

#### ■ビーバー 10 (集会時に常に持っていくもの)

- 《1.ハンカチ・タオル 2.ティッシュ (2から3個) 3.軍手 (子供用)  
4.ビーバーノート 5.ビーバー歌集 6.シーターポン 7.雨具 (カッパ)  
8.ビニール袋 (3から4枚) 9.水筒 (ポリタン1リットル程度) 10.筆記用具》  
その他 必要に応じ着替えなど

(注) スカウトの持物には、どんな小物にもそれぞれに名前を書いておいて下さい。

### 【カブスカウト隊】

1. カブキャップ (帽子) ..... 1,404 円
2. ポロシャツ (半袖/長袖) ..... 3,240 円/3,996 円
3. カブパンツ (半ズボン/長ズボン) ..... 3,132 円/3,780 円
4. カブベルト ..... 648 円
5. カブストッキング ..... 810 円
6. ネットリング (カブチーフリング・くま) ..... 180 円
7. カブブック (うさぎ・しか・くま) ..... 各 380 円
8. カブブック チャレンジ章 ..... 380 円
9. カブスカウト歌集 ..... 250 円
10. デイバック (両手が空き、体の大きさに適したもの) 1,000 ~ 2,000 円
11. 水筒 (ポリタン1リットル程度)
12. 雨具 (カッパ・両手が使える上下服が良い)
13. アルミ食器 (3から4個組・そのまま火にかけられるもの) ..... 約 1,500 円

尚、制服はカブを卒業したスカウトのお下がりがある場合もありますので、ご相談ください。

尚、りすの道・最初に使うカブブック・カブネッカチーフ・記章類は、入隊式時に入隊記念として進呈いたします。

また、しかスカウトになったら、シルヴァコンパス (2,100 円)

くまスカウトになったら、ナイフ (携帯できるもの) が必要です。

くまスカウトが5年生になったら、上進章ハンドブック (200 円) を購入してください。夏のキャンプでは、寝袋、リックサック、ヘッドライト、食器が必要となります。

(注) スカウトの持物には、どんな小物にもそれぞれに名前を書いておいて下さい。



スカウト用品の購入は下記のショップでお買い求めください。

### 【公益財団法人ボーイスカウト日本連盟 スカウトショップ】

〒113-0033 東京都文京区本郷 1-34-3 2F (スカウト会館内)

TEL: 03-5805-2637 FAX: 03-5805-2905

■営業時間 / 9:00 ~ 19:00 (平日)

11:00 ~ 19:00 (土日祝)

■最寄り駅 / 東京メトロ丸ノ内線 後樂園駅 (徒歩約3分)

JR 中央線・総武線 水道橋駅 (徒歩約5分)



## 保険について

入隊と同時に「ボーイスカウト日本連盟の団体保険『そなえよつねに保険』」に加入します。

未登録の時には、活動ごとのレクリエーション保険に加入します。その際には実費を徴収させていただきます。

## 広報活動

- ◎広報紙「味噌田楽」 奇数月・第2日曜日・資源回収時発行配布  
五団HPにてバックナンバーが見られます
- ◎ビーバー隊ブログ <http://kodaira5bvs.hateblo.jp/>
- ◎育成会総会資料 年1回 総会時(10月)発行
- ◎募集ポスター各種 「フレンドパーク小平5」他
- ◎五団募集チラシ 「ようこそボーイスカウト小平第五団へ」
- ◎ホームページ <http://kodaira5.web.fc2.com/>

## ご相談・連絡先

入団・入隊に対し、疑問点や判らないことがありましたら、お気軽に下記の方々にお問い合わせをお願いします。

役 務	氏名	自宅 TEL / FAX	E-MAIL
組織拡張担当団委員	田中 丈夫	090-5212-2674	tko@designlab.cc
ビーバー隊 隊長	熊原 千明	042-341-4669	mo-men@jcom.home.ne.jp
ビーバー隊 副長	中野 淳子	042-202-0902	tilo-200295-tuco-@softbank.ne.jp
ビーバー隊 担当団委員	岡田奈穂子	042-307-8184	
カブ隊 隊長	菊池 琢	042-345-2762	lnoken.taku@zd.wakwak.com
カブ隊 副長	川島 芳子	042-550-2678	yoshiko-kwsm@y3.dion.ne.jp
カブ隊 担当団委員	田中しのぶ	042-308-1330	
ボーイ隊 隊長	内野 修次	042-316-7008	genkotuyano-a-chan-san@docomo.ne.jp
VS 隊長・広報担当団委員	田島 康正	042-341-7838	ytajima1952@ezweb.ne.jp
団委員長	柴田 康晴	042-345-1986	shiba.9140101@docomo.ne.jp



## Q ボーイスカウトって何ですか？

健全な青少年育成を目指した世界的社会教育運動です。ボーイスカウトとは、自立心のある健全な青少年を育てることを目的とした世界的な社会教育運動のひとつです。教育のあり方が問われる昨今、子供たちの純粋な好奇心や探求心に応える活動を通して、心身ともにバランスの取れた人格形成をめざすボーイスカウトの活動は、さまざまな分野から注目されています。

## Q どんな活動をしているのですか？

野外活動を中心に、いろいろなことを学びます。野外活動を通して、自然を学び、友情や協調の精神を育むことが中心です。ふだんは土曜日の午後や、休日に集まって、工作やゲーム、歌、演劇などの活動、手旗やロープなどの練習、キャンプ生活の基本を学びます。春休みや夏休みには長期キャンプがあります。

## Q ボーイスカウトにおける教育はどのような制度になっていますか？

子供たちの個性と成長を、充分考えた制度です。班制度と進歩制度という教育制度から成り立っています。班制度は、異年齢の子どもが集まる小さい班(グループ)での活動を通じて、協力心と責任感を養います。進歩制度には、いろいろな項目を成し遂げることによって上級に進んでいく「進級章」と、社会や自分に役立ついろいろな技能を自分で選んで修得することによって個性に応じた自己啓発をはかる「ターゲットバッジ」や「技能章」があり、子どもの個性や心身の発育を十分考慮しています。

## Q どのような人が指導者になっているのですか？

専門の訓練や講習を受けた、ボランティアが指導しています。各種の指導者研修機関で研修を受け、ボーイスカウト指導者としてのさまざまな技能・知識を身につけた方々が子供たちの指導にあたっています。指導者は、職業をもちながら、仕事の都合をつけてボーイスカウトの指導のために時間をさいています。みんな子どもが大好きで、この運動に情熱をもち、ボランティアとして活動しています。

## Q ボーイスカウトは勉強のさまたげになりませんか？

活動は休日の数時間。余暇を有効に生かします。子供たちの余暇を利用して遊びながら学ぶわけですから、勉強のさまたげになる心配はありません。むしろ、集中力、自主性、自立心が養われ、学習面にも良い効果があらわれるようです。実際に、活動を続けながら進学したスカウト達の多くは、異口同音に「スカウト活動は、受験勉強中に頭をリラックスさせるのに役立った」といっています。また最近の教育界の流れとして、知識・学習面だけでなく、子どもの余暇活動についても学校でも積極的に評価されるようになってきています。

## Q 学校週5日制にボーイスカウトはどう取り組んでいますか？

子供たちの余暇時間が増えて、さらに活動の幅が広がりました。もともと子供たちの余暇時間を活動の時間としていたボーイスカウト。2002年から学校週5日制が実施され、土曜日に学校が休みとなれば、さらに活動の幅が広がり、充実度もアップするでしょう。また、各地域の学校、教育委員会等からより多くの子供たちの参加受け入れを期待されています。たくさん楽しいプログラムを用意して多くの青少年の参加をお待ちしています。





### ボーイスカウトは地球規模の活動です

世界中のさまざまな国の人々と友だちになれるというのが、スカウト活動の魅力です。地球規模の大きな活動ということです。世界の隅々でスカウトたちは活躍しています。

現在スイスのジュネーブに本部を置く世界スカウト機構に加盟している国は151ヶ国、加盟登録人数は2,800万人を超えています。スカウトは世界中の人々と友だちになるチャンスがあります。世界ジャンボリーなど全世界からスカウトが集まってくるキャンプ大会もあり、外国のスカウトを日本に招くこともあります。名実ともにインターナショナルな活動です。

